令和７年度　道徳教育　全体計画

学校番号	28	上田千曲　　高等学校	全　　課程	工業 商業　　科 家庭

学校教育目標
質実剛健 社会人としての協調心 職業的特質の伸長、品位ある個人の完成
重点目標
○オンリーワンの存在をめざし、生徒満足度が高く活力ある学校をつくる。 ○生徒の人権を尊重し、保護者と連携して、いじめや体罰のない安全・安心な学校をつくる。

道徳教育の重点目標
○中学校までの道徳的諸価値の理解を基に、自己の人間としての在り方生き方についての考えを深める。 ○規範意識を持ち、他者と協働する活動を通して、主体的に社会に参画する、貢献する意欲と態度を養う。 ○少数者、弱者の人権を尊重し、品位ある個人としてよりよく生きるための基盤となる、共存できる人間性、道徳性を養う。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
１年	校訓に掲げる「質実剛健」の意味をよく理解させ、飾り気がなくまじめで、心身ともにたくましい高校生となることを目指す。	○自己理解 職業の知識修得と職業観の理解 自己の在り方生き方を考え、社会参画の意識を醸成する。	高校生活の意義を理解し、有意義となるよう支援する。また、団体生活のルールを守る習慣を育てる。	集団の一員としての決まりを守り、お互いに協力する心と仲間を尊重する態度を養う。
		自ら思考できる道徳性を涵養する		
２年	校訓に掲げる「社会人としての協調心」の意味をよく理解させ、異なる立場や考え方の人とも協力して行動する高校生となることを目指す。	○自己啓発 将来設計への進路活動の具現化 仕事や社会で必要となる力(基礎的･汎用的能力)を育む。	自己を見つめ、将来の進路について正しく理解する力を育てる。また、上級生としての自覚を育てる。	自己の個性や能力を伸ばすとともに、主体的に行動する態度や責任感を身につけさせる。
		自ら判断できる道徳性を涵養する。		
３年	校訓に掲げる「品位ある個人の完成」の意味をよく理解させ、心の豊かさを備えることで、尊敬される社会人となることを目指す。	○自己実現 自己の在り方生き方の考察 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促していく。	最上級生としての自覚を育てる。 また、社会人となるための必要な資質を育てる。	集団生活の意義について理解を深め、最上級生としての役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努める。
		自ら実践できる道徳性を涵養する。		

各教科	
国語	他者の心情を理解する感性を養う。
地理歴史	人類の歴史を通し、人としての生き方を養う。
公民	現代社会についての公正な判断力を養う。
数学	論理的思考で合理的な判断力を養う。
理科	科学的な思考力、判断力を養う。
保健体育	協力する心や互いを敬う態度を養う。
芸術	多様な表現方法で他者を認める力を養う。
外国語	異文化を理解し、共生していく態度を養う。
工業	課題を発見し、他者と協働して物事を成し遂げる職業意識を養う。
商業	モラルやマナーなどビジネスに必要な倫理観、問題を解決する力を養う。
家庭	生活を工夫し、創造していく意欲、態度を養う。
福祉	思いやりの心を育て、社会に貢献する態度を養う。
総合的な探究の時間	課題研究で他者と協働することの大切さを学ぶ。

家庭・地域との連携	・保護者の思いを共感的に受け止めて連携することで、生徒一人ひとりに道徳的価値に基づいた生き方についての考えを深めさせる。 ・地域の教育力、人材を有効活用し総がかりで教育の質を高めることで、生徒が将来、主体的に社会の形成に参加できるようにする。